

# 寄稿 ふくせん研修ポイント制度 来年度実施めざす

福祉用具専門相談員協会（ふくせん、山下一平理事長）は、スキルアップに向けて研修の受講や自己研鑽を行ったふくせん会員にポイントを付与し、インターネット上で公表する制度を来年度から実施すると発表した。仕組みづくりに関わる、福祉用具専門相談員のサトウ（沖縄県宜野湾市）佐藤大介社長に、研修ポイント制のねらいを寄稿いただいた（表は研修ポイント制度構築の工程表、今後の流れで仕組みづくりが行われる予定）。



サトウ 佐藤社長

## 会員対象に研修実績の公表

ふくせんは、老健事業の助成を受け「仮 福祉用具専門相談員研修ポイント制度」を設けることになり、現場を知る福祉用具事業者のひとりとして創設に参加している。

研修ポイント制度は、福祉用具専門相談員の研修や自己研鑽などの実績に応じたポイントを付与し、それを管理・公開するもの。この取組みは、福祉用具サービスの質の向上をめざして、業務や研修等を通じて実践力を身につけ、福祉用具専門相談員を専門職として対外的に評価される仕組みを作ることを目的としている。今年度中に制度設計を行い、モデル事業で検証し、13年度の運用開始をめざす。

参加の条件は、福祉用具専門相談員として現に業務に従事するふくせん会員であって、研修実績の公表に同意すること。

## 大切なモチベーションの向上

研修ポイント制度のメリット

は、ふくせんの「福祉用具ランキングテスト」などと同様に、研修会参加に対する個人個人のモチベーションの向上にある。私は、このモチベーションの維持・継続が非常に重要であると考え。そのため、研修に参加しやすい環境作り（開催地域）や全国各地で様々な団体が開催している実践的研修会との連携など、各ふくせんブロックにおいて研修制度を活性化させる取組みが必要だろう。

## 専門職としての交流に期待

また、私は研修制度を通じて専門職として（セラピスト・看護師・介護職・ケアマネジャー・医師・福祉用具メーカー等）の交流がより深まることを期待している。今後、利用者により良い提案をしていくには、福祉用具専門

相談員が日常的に他の専門職と様々な情報を共有できる環境にあり、連携していくことが欠かせない。それが一人の専門職としての意識向上に繋がり、更に福祉用具専門相談員としてのステータスを上げていく一つの方法であると思う。

実際、福祉用具関連の研修会には意識の高い専門職がたくさん参加し、福祉用具専門相談員のスキルアップとともに他職種との連携強化の良い機会になっている。チームケアの一員として、ご利用者に質の高いケアの提供に向け、自身の能力開発を続けられる研修制度にしていきたい。

### 福祉用具専門相談員研修ポイント制度構築の工程表

- 他の職能団体で行われている類似制度に関する調査
- 福祉用具専門相談員の研修受講状況・研修ニーズについてのアンケート調査（事業所管理者、実務者双方に調査を実施）

### 生涯研修制度の設計

- 研修ポイント制度の全体設計
- 各種研修等へのポイント付与のあり方
- ふくせん独自研修のあり方
- ポイントの管理・表示システム

### WEBページの構築

- 普及啓発シンポジウム（含む情報発信）
- 一般参加者の公募

### 受講結果申請・申請内容の評価・ポイント公表

- モデル事業の検証
- 参加した福祉用具専門相談員への意識調査
- Webページアクセスログ等のデータ分析